

長野県 伊那市

# 教育と学校のご紹介



# 伊那市の教育とは？

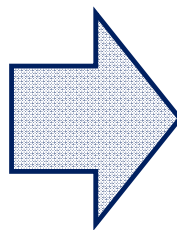
## 伊那市の教育理念「はじめに子どもありき」

「はじめに子どもありき」は、子どもの事実に戻るといふことであり、子どもの事実を教育の出発点あるいは根拠とするといふことである。

平野朝久『はじめに子どもありき』（学芸図書/1994年）

児童生徒らが自ら生きる力を育むために、「はじめに子どもありき」の教育理念のもと、郷土の教育資源を生かした食育やキャリア教育をはじめ、体験や対話を重視した人間性に満ちた教育により、心豊かな人づくりに取り組みます。

また、豊かな自然や歴史文化に恵まれた郷土の魅力を感じ、ふるさとに対する誇りや感謝の気持ちを育むとともに、郷土愛を受け継ぐ次の世代の人材育成に努めます。



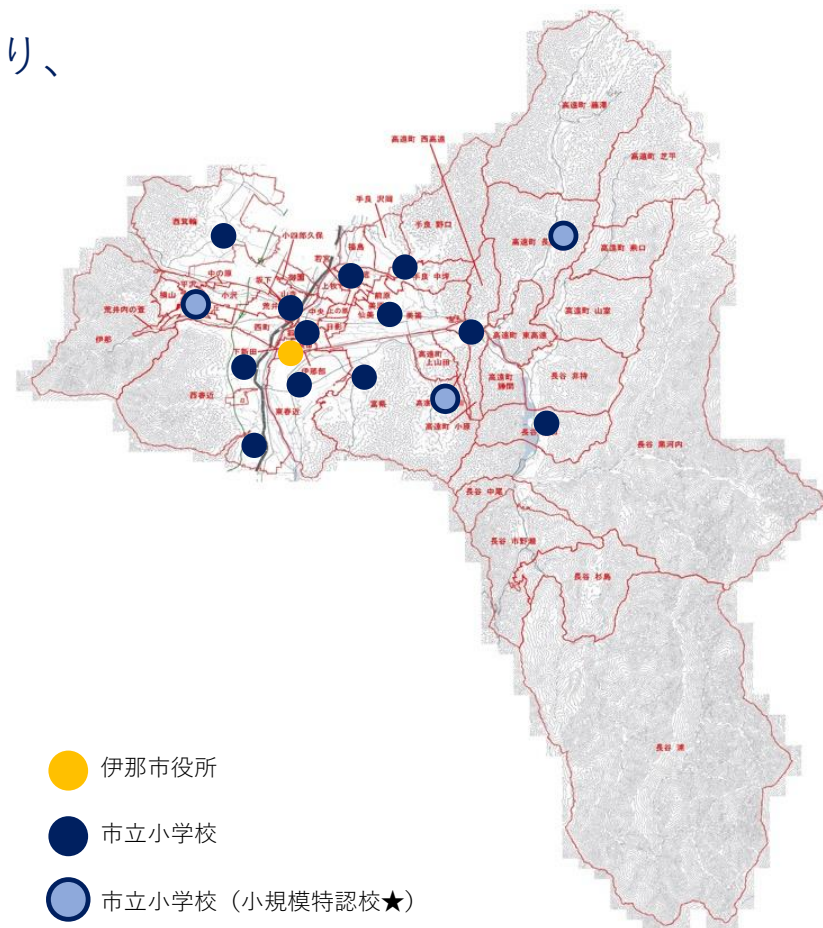
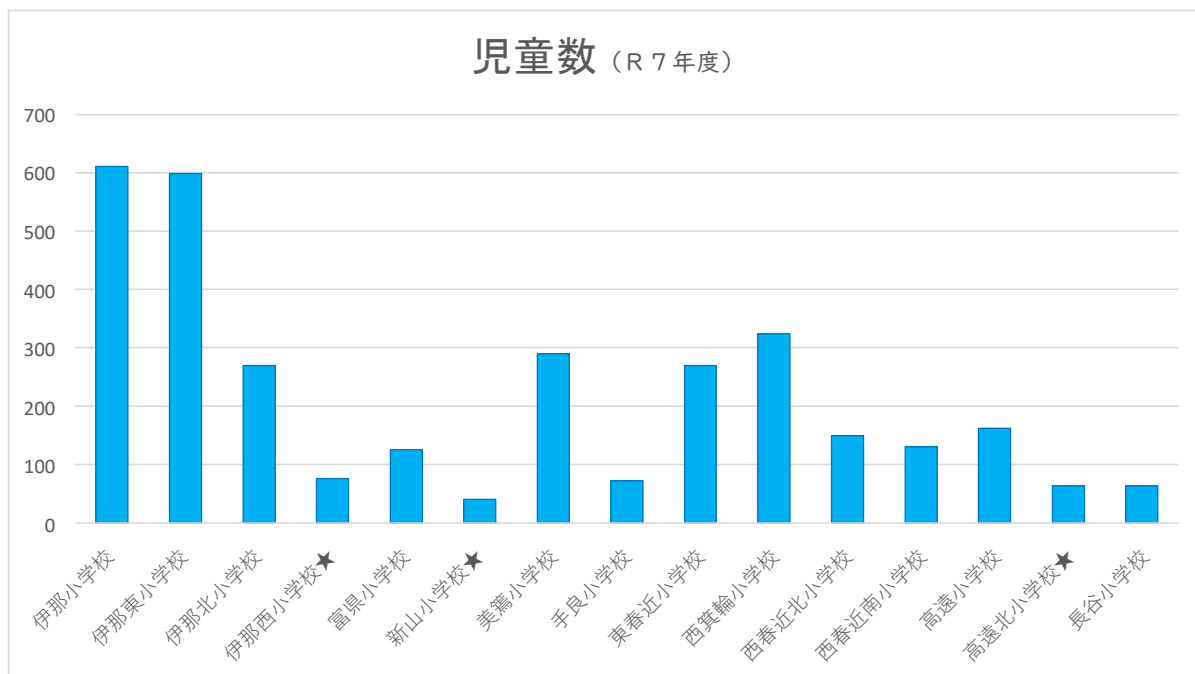
- 総合的な学習
- 地域社会や文化と結びついた学習
- 自然体験
- ICTの積極的な活用
- 自分らしい生き方（キャリア教育）

など

# 伊那市立小学校 × 15校

伊那市内には小学校が15校あります。

その大半が山・森・川・田んぼなど自然が身近な環境にあり、市街地の学校でも動物飼育や稲・野菜栽培をはじめとした自然環境や地域社会と親しむ活動を取り入れています。

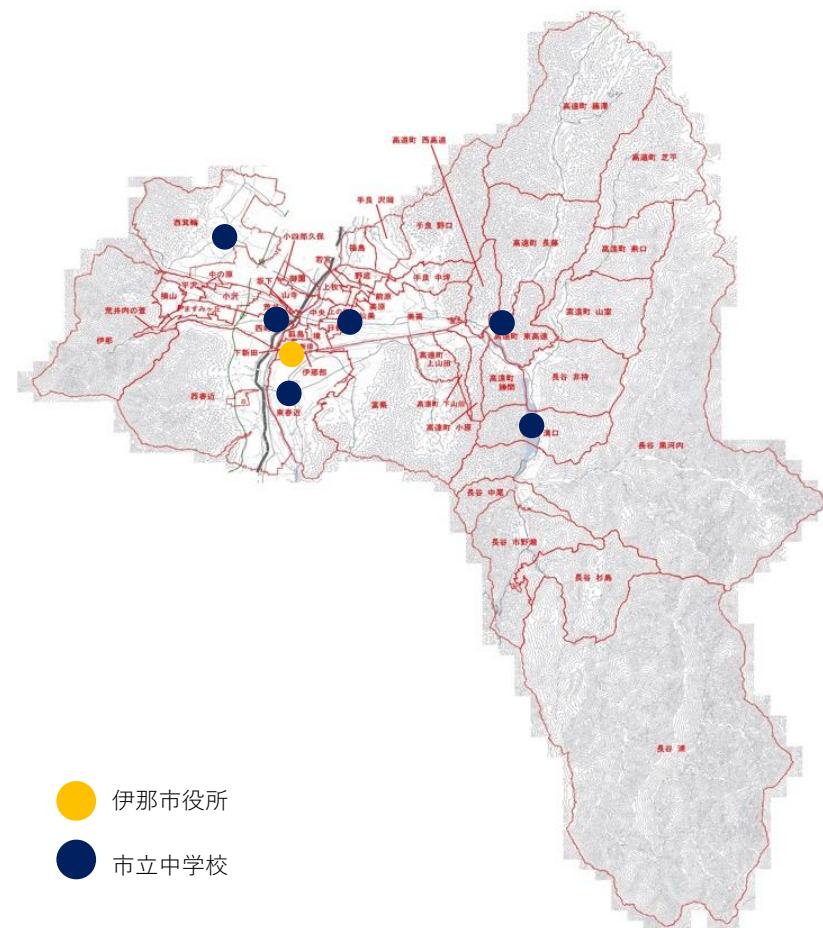
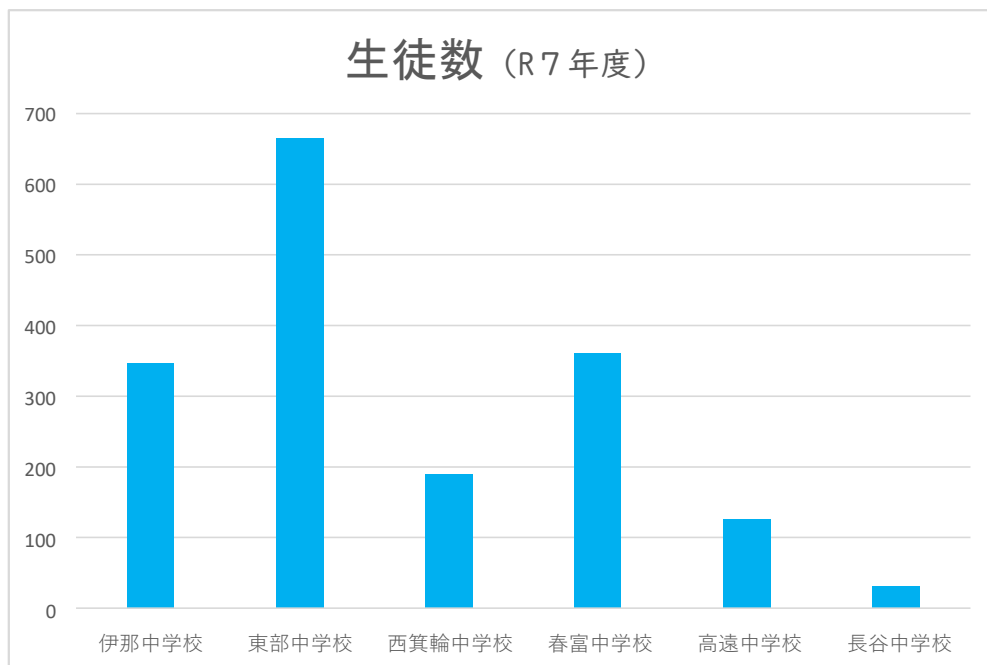


# 伊那市立中学校 × 6校

伊那市内には中学校が6校あります。

小学校に比べて数が少ないですが、徒歩や自転車、地域のバスなどを利用して登下校しています。

自然体験以外にも「キャリア教育」にも注力しています。



# 伊那市の小学校って？

1学年1学級や、  
1クラス20名以下の  
小規模な学校

少人数の良さを生かした教育  
(新山小・伊那西小・高遠北小・  
手良小・長谷小など)

校舎や教室の窓から  
見えるアルプスの  
すばらしい景観！

(市内各校)

地域をフィールドとした  
学習や交流

里山登山・遠足、自然体験学習、  
農業体験、歴史学習、文化祭など  
(市内各校)

豊かな食農体験

米や野菜づくりによる栽培か  
ら収穫、調理までの体験を通  
して、生産者の苦勞を知り、  
食べ物への感謝の気持ちを育  
みます。

(市内各校)

掃除や集会など  
縦割り活動で  
異年齢交流。

(市内各校、小規模校)

地元の農作物を使った  
自校給食がおいしい！

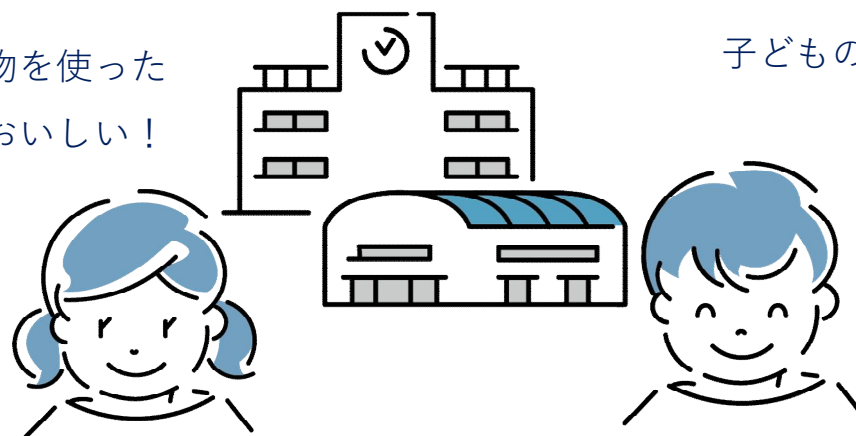
(市内各校)

子どもの願いや想いを生かした

ユニークな取り組み

動物飼育や栽培活動、里山・学校林の  
活用、自然保護活動、地域文化伝承など

(市内各校)



# 伊那市の中学校って？

日本有数の桜の名所がすぐそばに！  
観桜期には生徒主導で地域活性化・  
観光のボランティア

(高遠中)

生徒会が中心となった通学路の  
安全対策

「春富の心」を大切にしたい地区

奉仕活動

(春富中)

野菜や花の栽培活動による主体性  
の育成と「長谷の縁側」や「パン  
ジー配付」を通じた地域との絆。

(長谷中学校)

ひとりひとりの「やってみた  
い」にじっくり取り組む探究学  
習「マイチャレンジ」の実践

(伊那中学校)



長野県の慣習「無言清掃」

毎日学校をピカピカに！

(市内全中学校)

豊かな自然に囲まれた学校環境

「スマイル花壇」地域との交流

地域行事への参加

(西箕輪中学校)

マンモス校だからできる多様な学び

「さくらプロジェクト」

仙台市中学校との交流の推進

ふるさと学習・食育活動

(東部中学校)

# 小規模特認校制度

伊那市では学区の学校 + 小規模特認校という学びの選択肢があります。

## 小規模特認校

「豊かな自然の中での活動機会を与えたい」「少人数の学校で子どもを学ばせたい」など、「特色ある教育環境を活かして、一人ひとりの個性を尊重し、明るく伸び伸びとした教育」を保護者が希望した場合に、一定の条件をもとに校区を越えて入学・転学が認められた学校です。

新山小学校

伊那西小学校

高遠北小学校

- 少人数での学びが実現できる
- 子どもの特性に合った学校を選ぶことができる
- 学校選びで住まい選びが制限されない
- 子どもにとっての選択肢が増える



伊那市ホームページ  
「小規模特認校」の取り組み

# 教育移住のメリットと注意点

伊那市や各学校が大切にしている学びや特性を知っていただいた上で、お子さんがのびのびと成長できる学校を検討することができます。

移住検討の際には、学校見学やオンライン相談していただくことをおすすめします。

## メリット

- すべて市立の公立校なので経済的。
- 各校ごとに特色や多彩な取り組みがある。
- 森・川・山・田んぼなど自然に親しめる環境。
- 少人数で学べる環境。
- 学区＋小規模特認校という選択肢。
- 伝統や文化を学ぶことを大切にしている。
- 先進的な学びに対しても積極的。

## 注意事項

- 私立校とは仕組みが違う。  
(文科省の学習指導要領に準じる)
- 小規模特認校への学区外登校は保護者の送迎が必要。
- 学校の特色が必ずしもすべての子どもに合うわけではない。
- 教育移住も「子どもありき」で。